

警告表示が多過ぎないか？

2019年5月

右の二枚は空港で撮った写真である。この装置は作業員を高所に上げて作業をするために使う昇降機(エレベーター)である。この高所作業車には24個の警告ラベルがついている。この内いくつを作業員が読み取るだろうか？ 確かにこれらの警告表示は全て要点を突いて目的にかなっている。しかし警告が多すぎると、現実には判りづらく誰もそれらに注意を払わないようになるのではないか。

我々は情報過多に悩まされてはいないか？ その通り！ プロセス工業では、通りかかってもしもわざわざ読む気がしない警告表示があり、あるいは手順書にあっても気付かない注意事項があり得る。



知っていますか？

- 警告表示は、あるエリア内での特定の機器やプロセスの危険性を人々に気付かせるように掲げられている。
- 警告表示はまた、プロセスエリア内や機器に対して、安全上の制約事項を具体的に挙げていることもある。
- プロセスエリア内の表示は、しばしば保護具(PPE)の要件やその他の安全情報を載せている。警告や必要な保護具は運転と保全の手順書、あるいは作業許可書にも載っているだろう。
- 表示や手順の注意事項が多すぎると、いくつかが見落とされて事故が起こるかもしれない。

あなたにできること

- プロセスエリアに入るか、あるいは機器を使用する前に、いつも警告表示を読んで何をすべきか、してはいけないかを確認すること。
- 運転手順書、保全手順書あるいは作業許可書を読んで、含まれている安全と保護具の要件を理解すること。これらの必要事項に従うようにし、理解できない場合は上司に尋ねること。
- 手順書や掲示板にあまりに多くの警告があって、読む人にとって何が重要なのか分かり難いと思う場合には、上司に報告すること。
- 警告表示はあるべき場所に適切な数があるだろうか？ それらは気づきとして効果的か？ 表示に間違いはないか？
- 警告表示と手順の注意事項について改善する機会を持つように提案すること。例えば、上の写真の高所作業車には24個の警告ラベルがある。これら警告ラベルのいくつかをまとめられないだろうか？ グループ化できないか？ 優先順位はどうか？ すべてが必要だろうか？
- 不適切な表示に関するその他の例は、2013年5月号のBeaconを読むこと。

警告表示は必要だ – かつ的確であること！